

第369回
日本泌尿器科学会新潟地方会
(高橋公太教授退任記念講演会)
《 プ ロ グ ラ ム 》

日 時：平成26年3月15日(土) 午後14時30分
会 場：イタリア軒 3階 『サンマルコA』
新潟市中央区西堀通7 025-224-5111

次回 第370回新潟地方会予告

期 日：平成26年6月 日(土)

会 場：

(信州・山梨・新潟合同地方会)

演題申込期限：平成26年4月中旬

※ PC発表のみです。

※ 口演時間は、1題7分。討論2分(時間厳守)

日本泌尿器科学会会員証を必ずご持参下さい。

951-8510 新潟市中央区旭町通1の757

新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野

日本泌尿器科学会新潟地方会

会長 高橋公太

TEL：025(227)2289/FAX：025(227)0784

1. 過去5年間における緊急手術としての腎瘻造設術の検討

県立がんセンター新潟病院 泌尿器科

山崎裕幸、小林和博、斎藤俊弘、北村康男

当院では2009年1月より2013年12月まで88名に、悪性疾患が原因による尿管閉塞 (Malignant Ureteral Obstruction :MUO) に対し緊急腎瘻造設を行った。患者背景は男性44名、女性44名、年齢の中央値は72.5歳、腎瘻造設例は左側が43例、右が28例、両側が16例 (1例は不明)、術前s-crの中央値は4.74mg/mLであった。術後最低s-crの中央値は1.28mg/dL、術後生存日数の中央値は、全体で139日であった。多変量解析では、年齢 \geq 73歳、消化器癌、術前s-cr \geq 3.2mg/dLで有意に予後不良であった。

2. 新潟大学医歯学総合病院泌尿器科における2013年手術統計

新潟大学医歯学総合研究科 新潟大学腎泌尿器病態学分野

田崎正行、小松集一、星井達彦、笠原 隆、新井 啓、中川由紀、
原 昇、小原健司、斎藤和英、谷川俊貴、西山 勉、高橋公太

2013年の手術室での手術件数は437件、密封小線源療法 (LDR) は6件、高線量率組織内照射療法 (HDR) は35件、金マーカー挿入 (強度変調放射線治療 IMRT) は6件であった。内訳は、副腎・後腹膜が26件、腎が100件、腎盂・尿管が82件、膀胱が92件、前立腺が138件、陰嚢・陰茎・尿道が51件、その他が10件であった。2012年度に比べ、腎盂・尿管と前立腺の手術件数が増加した。

3. 当科で過去5年間に経験したフルニエ壊疽症例の検討

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野

石川晶子、瀧澤逸大、鳥羽智貴、星井達彦、新井 啓、小原健司、高橋公太

目的：当科でフルニエ壊疽の診断で外科治療を行った症例の治療成績を検討した。方法：2008年9月から2013年12月の間に経験した8症例を対象とし臨床的検討を行った。結果：年齢は43-82歳、5例で易感染性の基礎疾患を認め、うち2例は糖尿病を合併していた。全例でデブリドマンと精巣摘除術、1例で人工肛門造設術を行い、全症例11-61日の入院期間で治癒し退院した。フルニエ壊疽重症度判定 (FGSI) スコアは2-6点であった。考察：FGSIスコアが6点以下では集学的治療により予後は良好であった。

4. 前立腺部異所開口尿管に発生した尿管癌に対し、用手補助鏡視下腎尿管前立腺全摘除術を行った1例

立川総合病院 泌尿器科

田所 央、諏訪通博、上原 徹、

症例は65歳、男性。右側腹部痛、全身倦怠感を主訴に消化器内科を受診。CTで右尿管腫瘍および尿管外尿溢流を認め当科入院となった。抗生剤治療で症状、炎症反応ともに改善し。造影CTを再検した所、上腎杯から前立腺部尿道に開口する完全重複尿管を認め、異所開口尿管に尿管腫瘍と尿管結石を認めた。術前補助化学療法を3コース施行後、用手補助鏡視下腎尿管前立腺全摘除術を行った。術後経過は良好で再発を認めていない。

5. 人工尿道括約筋（AMS800）埋め込み術の検討

下関市立済生会豊浦病院泌尿器科¹⁾、
山口大学大学院医学系研究科泌尿器科分野²⁾
野村悠一郎¹⁾、廣吉俊弥¹⁾、安井平造¹⁾、上領頼啓¹⁾、内山浩一²⁾

前立腺全摘術後の重度の尿失禁は1～3%に認められ、著しく生活の質を低下させる。欧米においては人工尿道括約筋埋め込み術が約40年間に亘り行われており、良好な成績が報告されている。当科では現在まで13症例を経験した。内訳は前立腺全摘除術後が9例で最多で、その他に直腸癌術後が2例、TUR-P後が1例、子宮全摘後が1例であった。これらの症例に対する治療成績と合併症に関して検討を行ったので報告する。

6. 前立腺がん検診受診者と新潟県がん登録の照合による精度管理

－ 平成17年度新潟市検診全受診者の長期にわたる罹患数 －
新潟市前立腺がん検診検討委員会
小松原秀一、渡辺 学、西山 勉、吉水 敦、谷川俊貴、
今井智之、斉藤俊弘、木村元彦

新潟県はH16年に前立腺がん検診を開始、新潟市は5年節目の年齢を対照としている。H17年度検診の精検受診者の追跡調査は既に報告したが、この度全受診者と新潟県がん登録（平成25年8月現在）の照合調査を行った。受診者数4,034名、がん登録176名（既治療患者の受診22名）、登録漏れ9名、合計185名になった。偽陰性はPSA基準値34名、判定違い6名。公表された検診結果を補正し、経過観察等の結果も含めた長期の罹患数を知ることができた。

15：24～15：30

【日本泌尿器科学会新潟地方会総会】

[休 憩 15：30～15：50]

イブニングセミナー (～高橋公太教授 退任記念～)

日 時：平成26年3月15日(土) 15時50分～17時40分

会 場：イタリア軒 3階 『サンマルコC』

【高橋公太教授の19年間を振り返る】

15時50分～16時20分

司 会 新潟大学医学部泌尿器科学教室同窓会 副会長 高橋 等 先生

「新潟大学泌尿器科の20年を振り返って」

腎泌尿器病態学分野 講師 谷川 俊貴

「小児泌尿器科」

腎泌尿器病態学分野 講師 小原 健司

16時20分～16時50分

司 会 新潟大学医学部泌尿器科学教室同窓会 副会長 上原 徹 先生

「移植医療」

腎泌尿器病態学分野 講師 齋藤 和英

「ドナー腎採取術の工夫と前立腺癌診療の推移」

腎泌尿器病態学分野 准教授 西山 勉

【特別講演】

16時50分～17時40分

司 会 新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野 教授 高橋 公太 先生

「高橋先生と腎移植と私」

東京女子医科大学 泌尿器科 主任教授 田邊 一成 先生

共催 日本泌尿器科学会新潟地方会
第一三共株式会社

※ イブニングセミナー終了後、3階 「サンマルコA」にて記念撮影を行います。

※ 記念撮影終了後、3階「サンマルコ」にて祝賀会となります。